



神秘的な雰囲気漂う御夜

Town Topics

~まちのわだい~



九州三大祭りのひとつである八代妙見祭(お上り)が11月23日にあり、約1kmもの神幸行列がまちを練り歩きました。妙見祭は、八代神社(妙見町)の例大祭として約400年もの歴史あるお祭りです。

山々が赤く染まり始める秋空の下、砥崎の河原では、まず、玉振りにあわせて2匹の獅子が華麗な舞いを披露。その後、子孫繁栄や商売繁盛などを祈願する9基の笠鉦(県指定重要民俗文化財)や妙見の神が中国から八代へ海を渡ってきたときに乗ってきたといわれる想像上の動物である亀蛇の力強い演舞、水しぶきを上げて走り回る花馬(馬追い)などがあり、会場に詰め掛けた観客からは、歓声が沸きあがっていました。

また、前日には、塩屋八幡宮やアーケード街で御夜があり、笠鉦などの横に張られた陣では、お酒が振る舞われるなど、一足早く祭りの雰囲気を味わう人で大変なにぎわいでした。



▲迫力ある亀蛇の姿に歓声があがる

400年の伝統ある華麗な祭り

八代妙見祭

やつしろの味をプレゼント

やつしろふるさと直送便公開抽選会



▲来庁者も参加し、ドキドキの瞬間

12月8日、本庁1階ロビーで、やつしろふるさと直送便プレゼント企画公開抽選会が行われました。

この企画は、やつしろシティープロモーションセンターが主催したもので、熊本県内外から280件の応募がありました。抽選の結果、鏡町の男性や熊本市の女性など5名が当選し、やつしろの味がいっぱい詰まった「冬の便」が届けられました。

目指せ! 未来の画家!

八代亜紀絵画コンクール大賞決定



▲記念の八代さん直筆の絵を手に喜ぶ藤井くん

11月19日、やつしろハーモニーホールで、八代亜紀絵画コンクール表彰式が行われ、「自分たちの住んでいるまち」をテーマに応募のあった775点の作品から、八代亜紀賞9人を表彰。さらにその中から、藤井邦輔くん(第6中学校1年)の作品が大賞に選ばれました。

「稲穂に付いたしずくが細かく描写され印象が強かった」と八代亜紀さんからの講評に、藤井くんは、驚きながらも「これからも絵を描き続けて行きたい」と嬉しそうに答えていました。



▲作文発表に聞き入る場内

たがいのハートを語り合おう

第9回人権フェスティバル

人権フェスティバル in 八代が、12月11日、西宮・上日置集会所で開催されました。

今年で9回目を迎えるこの催しは、部落問題をはじめ、あらゆる差別をなくすための啓発事業として取り組んできたものです。

ステージでは、人権作文の表彰を受けた、高田小学校6年生の鶴島梨沙さん、第三中学校2年生の聞結稀さん、白百合学園高校3年生の山本なぎささんの作文発表や各団体の発表、作品展示などがあり、会場をおとずれた人々で終日にぎわっていました。



▲スタートを前に会場の熱気は最高潮



1日目 40 Kmコース(立神峡)



▲会場を盛り上げた八代亜紀さん

15,000人が八代を満喫

九州スリーデーマーチ2005

11月18日～20日、球磨川緑地公園をメイン会場に九州スリーデーマーチ2005が開催され、全国から延べ15,000人が参加しました。11回目となった今年のスリーデーマーチは、八代市および氷川町の合併記念として「あるこう！新しいまちやつしろ」をテーマに開催されました。

リュックサックを背負い、早い足取りで本格的に歩くウォーカーや、ベビーカーを押しながらゆっくりと歩く親子連れなど、心地よい秋風に吹かれながら、それぞれが自分のペースで歩き、自然豊かな八代を満喫していました。

また、メイン会場では、八代亜紀さんが新曲などを披露。ダンスやマーチング、土木体験フェアなどのイベントや物産展には、多くの人が詰め掛けていました。

もちつきで「火災に気をつけて」 防火もちつき大会

12月4日、ゆめタウン八代で「防火もちつき大会」が開催されました。

これは、火災の多発する年末に、防火を呼びかけることを目的とするもので、救急基金の募金も行われました。



▲「よいしょ！」ともちつき体験

八代広域幼少年婦人防火委員会（会長・宮崎定美八代広域消防本部消防長）の主催で実施され、会場をおとずれた子どもたちも参加し、もちつきを楽しみました。

できたての紅白餅は火災予防のチラシとともに、来場者に配られました。

子どもの安全を願う

小学校通学路パトロール

広島県や栃木県で、下校途中の小学生が殺害されたことを受け、12月6日、代陽校区で通学路の防犯パトロールが行われました。

市長をはじめ保護者など約30名が、下校中の児童とともに歩きながら行われたこのパトロールは、小学生が通学する大通りのほか、一歩入り込んだ路地でも行われ、不審者はいないか、危険な場所はないかなどが点検



▲犯罪や事故に気をつけて帰ろうね

あそびの中から科学体験

八代こども科学フェア

11月26日、27日の2日間、ハーモニーホールで「八代こども科学フェア」が開催され、多くの子どもたちが参加しました。

会場に訪れた子どもたちは、遊びの中で体験できるような各種実験、パソコンやロボット操作、太陽の黒点観察、手作り木工品の製作などを、学生や関係団体のボランティアスタッフと一緒に楽しんでいました。



▲ロボットと旗揚げ対決

ロボットモニュメントがお目見え ハーモニーホールに横場工業が寄贈

11月30日、市役所で横場工業(株)が製作したロボットモニュメントの贈呈式がありました。

このロボットは、ハーモニーホール横の広場に設置され、遠隔操作で周辺の映像や音声を専用モニターに伝送したり、周囲をライトで照らし出すこともでき、今後は、広場でのイベント中継などに活躍が期待されます。



◀ 寄贈された「遠隔操作ライブロボット・ポラリス」